



2026年6月22日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 アイ リ ッ ジ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 田 健 太 郎
(コード番号：3917 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 森 田 亮 平
(TEL. 03-6441-2325)

(訂正)「2026年3月期 通期決算説明資料(事業計画及び成長可能性に関する事項)」の

一部訂正に関するお知らせ

当社は、2026年5月8日付に公表した「2026年3月期 通期決算説明資料(事業計画及び成長可能性に関する事項)」の一部に訂正すべき事項がございましたので、下記のとおり、お知らせします。

なお、当社ホームページ (<https://iridge.jp/ir/>) に訂正後の「2026年3月期 通期決算説明資料(事業計画及び成長可能性に関する事項)」を掲載しています。

記

1. 訂正の理由

セグメント別売上高の数値に訂正すべき事項がありましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

訂正前と訂正後の情報を記載し、訂正箇所を下線を付しています。

・「セグメント別実績の概況」 9ページ

【訂正前】

01 セグメント別実績[※]の概況

アプリビジネス事業はEX-DX領域が成長を牽引、調整後営業利益は前期の一過性費用がなくなり前年同期比+38.2%と増加。
ビジネスプロデュース事業は想定していた大型案件のずれ込みもあり、増収・減益で着地。

		25/3期	26/3期		参考		
		(百万円)	通期	通期	前年同期比	4Q単独	前年同期比
売上高	連結		6,090	6,993	+14.8%	2,039	+13.1%
	アプリビジネス事業		4,418	5,297	+19.9%	1,557	+13.8%
	ビジネスプロデュース事業		1,672	1,845	+10.4%	627	+43.9%
	調整額		—	-150	—	-145	—
調整後営業利益	連結		140	246	+75.0%	281	+995.4%
	アプリビジネス事業		756	1,046	+38.2%	416	+112.7%
	ビジネスプロデュース事業		143	111	-22.1%	76	+73.0%
	全社経費		-760	-912	—	-211	—
	調整額		—	—	—	—	—

※ 業績は2025/7/1付で株式譲渡を行った関係会社が営むフィンテック事業の実績を除外した数値を表示している

9

【訂正後】

01 セグメント別実績[※]の概況

アプリビジネス事業はEX-DX領域が成長を牽引、調整後営業利益は前期の一過性費用がなくなり前年同期比+38.2%と増加。
ビジネスプロデュース事業は想定していた大型案件のずれ込みもあり、増収・減益で着地。

		25/3期	26/3期		参考		
		(百万円)	通期	通期	前年同期比	4Q単独	前年同期比
売上高	連結		6,090	6,993	+14.8%	2,039	+13.1%
	アプリビジネス事業		4,418	5,297	+19.9%	1,557	+13.8%
	ビジネスプロデュース事業		1,672	1,714	+2.5%	496	+13.8%
	調整額		—	-19	—	-14	—
調整後営業利益	連結		140	246	+75.0%	281	+995.4%
	アプリビジネス事業		756	1,046	+38.2%	416	+112.7%
	ビジネスプロデュース事業		143	111	-22.1%	76	+73.0%
	全社経費		-760	-912	—	-211	—
	調整額		—	—	—	—	—

※ 業績は2025/7/1付で株式譲渡を行った関係会社が営むフィンテック事業の実績を除外した数値を表示している

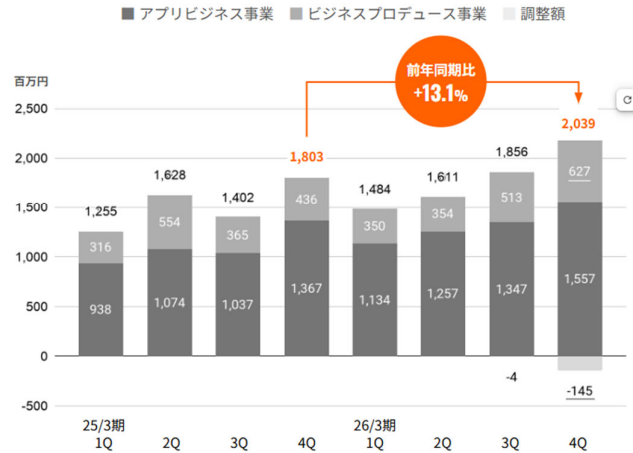
9

・「01 売上高の推移（セグメント別）」10 ページ
【訂正前】

01 売上高^{*}の推移（セグメント別）

4Q単独の売上高は前年同期比
+13.1%増。

アプリビジネス事業はEX-DX領域
の成長に加え、例年同様、期末に
かけて売上が積み上がった。
ビジネスプロデュース事業は想定
していた大型案件がずれ込んだ影
響を受けたものの、引き続き増収
基調。



※ 業績は2025/7/1付で株式譲渡を行った関係会社が営むフィンテック事業の実績を除外した数値を表示している

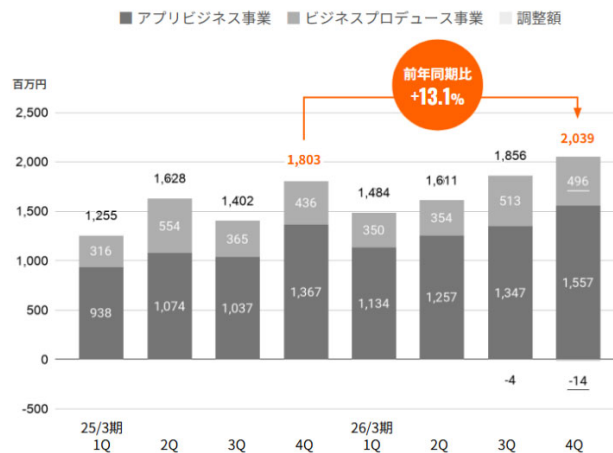
10

【訂正後】

01 売上高^{*}の推移（セグメント別）

4Q単独の売上高は前年同期比
+13.1%増。

アプリビジネス事業はEX-DX領域
の成長に加え、例年同様、期末に
かけて売上が積み上がった。
ビジネスプロデュース事業は想定
していた大型案件がずれ込んだ影
響を受けたものの、引き続き増収
基調。



※ 業績は2025/7/1付で株式譲渡を行った関係会社が営むフィンテック事業の実績を除外した数値を表示している

10

【訂正前】

02 26/3期の振り返り

	26/3期振り返り	評価
成長戦略① アプリビジネス事業の継続成長	<ul style="list-style-type: none"> 既存先との取引は堅調。 APPBOXのアーキテクチャ刷新（リビルド）により、中長期的な企業価値向上に向けた土台は構築済。 	△ ~ ○
成長戦略② アプリ以外のDX領域への展開	<ul style="list-style-type: none"> EX-DX領域売上高は前年同期比+269.0%と大幅成長。 EX-DX領域ではAI実装を行った開発実績が積み上がっているほか、EX-DX領域以外でもDX支援の大型案件を受注済。 	◎
成長戦略③ ビジネスプロデュース事業領域への進出	<ul style="list-style-type: none"> 大型案件のずれ込みもあり、売上高は前年同期比+10.4%で着地。 沖縄テレビとの共同事業において第1号プロダクトをリリースし、全国のローカル局や地域企業への展開・拡販も開始予定。 	△ ~ ○
成長戦略④ 新規事業の創出・成長加速	<ul style="list-style-type: none"> 人材リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」は継続成長。 2026年6月よりチーム開発支援AIエージェント事業を開始予定。 	○
成長戦略⑤ 顧客企業との戦略的パートナーシップの強化	<ul style="list-style-type: none"> 既提携先のディップ・博報堂・沖縄テレビなどと共同事業を推進する中で、Tech & Innovation Partnerの事業モデルができてくる。 当該モデルの横展開に向け、さらに複数先と提携等を検討中。 	◎

23

【訂正後】

02 26/3期の振り返り

	26/3期振り返り	評価
成長戦略① アプリビジネス事業の継続成長	<ul style="list-style-type: none"> 既存先との取引は堅調。 APPBOXのアーキテクチャ刷新（リビルド）により、中長期的な企業価値向上に向けた土台は構築済。 	△ ~ ○
成長戦略② アプリ以外のDX領域への展開	<ul style="list-style-type: none"> EX-DX領域売上高は前年同期比+269.0%と大幅成長。 EX-DX領域ではAI実装を行った開発実績が積み上がっているほか、EX-DX領域以外でもDX支援の大型案件を受注済。 	◎
成長戦略③ ビジネスプロデュース事業領域への進出	<ul style="list-style-type: none"> 大型案件のずれ込みもあり、売上高は前年同期比+2.5%で着地。 沖縄テレビとの共同事業において第1号プロダクトをリリースし、全国のローカル局や地域企業への展開・拡販も開始予定。 	△ ~ ○
成長戦略④ 新規事業の創出・成長加速	<ul style="list-style-type: none"> 人材リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」は継続成長。 2026年6月よりチーム開発支援AIエージェント事業を開始予定。 	○
成長戦略⑤ 顧客企業との戦略的パートナーシップの強化	<ul style="list-style-type: none"> 既提携先のディップ・博報堂・沖縄テレビなどと共同事業を推進する中で、Tech & Innovation Partnerの事業モデルができてくる。 当該モデルの横展開に向け、さらに複数先と提携等を検討中。 	◎

23

・「04 グループ事業概要」51 ページ
【訂正前】

04 グループ事業概要

当社グループはアプリビジネス事業、ビジネスプロデュース事業の2つの事業から構成。

アプリビジネス事業	ビジネスプロデュース事業
<ul style="list-style-type: none">・企業向けスマホアプリの企画・開発・運用支援・アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」の企画・開発・運用・企業向けDXサービスの企画・開発・運用	<ul style="list-style-type: none">・統合マーケティング支援、ビジネスコンサルティング・実行支援・イベントや店舗集客促進等のリアルマーケティング支援
セグメント売上高 52.9億円	セグメント売上高 18.4億円

※売上高は26/3期末実績

51

【訂正後】

04 グループ事業概要

当社グループはアプリビジネス事業、ビジネスプロデュース事業の2つの事業から構成。

アプリビジネス事業	ビジネスプロデュース事業
<ul style="list-style-type: none">・企業向けスマホアプリの企画・開発・運用支援・アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」の企画・開発・運用・企業向けDXサービスの企画・開発・運用	<ul style="list-style-type: none">・統合マーケティング支援、ビジネスコンサルティング・実行支援・イベントや店舗集客促進等のリアルマーケティング支援
セグメント売上高 52.9億円	セグメント売上高 17.1億円

※売上高は26/3期末実績

51

以上